

流域治水プロジェクト2.0について

1. 阿武隈川水系流域治水プロジェクトの取り組み(阿武隈川上流)

- 昨今の気候変動による災害の激甚化・頻発化に対応するため、流域全体のあらゆる関係者(国・県・市町村・企業・住民等)により、流域全体で行う治水対策「流域治水」を推進する阿武隈川上流流域治水協議会を令和2年9月に設立し、「阿武隈川水系流域治水プロジェクト」を策定し、令和3年3月に公表した。
- 以後、プロジェクトについては、進捗の見える化等の更新を図るとともに、流域全体の関係者による総合的な防災・減災対策を実施。

流域治水プロジェクトに関する取り組みの経緯

【日 時】	【会議等】
令和2年9月15日・16日	第1回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和3年2月19日・22日	第2回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和3年3月30日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを策定 阿武隈川流域治水宣言の表明
令和3年6月20日	阿武隈川上流 流域治水シンポジウム
令和3年10月28日	第3回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和4年3月15日	第4回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和4年3月31日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新
令和5年3月2日	第5回 阿武隈川上流流域治水協議会
令和5年3月31日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新

協議会メンバー

福島市長 郡山市長 白河市長 須賀川市長
 二本松市長 田村市長 伊達市長 本宮市長
 桑折町長 国見町長 川俣町長 大玉村長 鏡石町長
 天栄村長 西郷村長 泉崎村長 中島村長 矢吹町長
 石川町長 玉川村長 平田村長 浅川町長 三春町長
 棚倉町長
 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員仙台支社長
 阿武隈急行株式会社 代表取締役社長
 福島県土木部長 福島県危機管理部長
 福島県農林水産部長
 農林水産省東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所長
 林野庁関東森林管理局福島森林管理署長
 気象庁福島地方気象台長
 国立研究開発法人森林整備センター関東整備局長
 国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局摺上川ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所長

協議会の開催状況

【阿武隈川上流流域治水シンポジウム】



【第3回阿武隈川上流流域治水協議会】



【第4回阿武隈川上流流域治水協議会】



【第5回阿武隈川上流流域治水協議会】



2. 阿武隈川水系流域治水プロジェクトの取り組み(阿武隈川下流)

- 昨今の気候変動による災害の激甚化・頻発化に対応するため、流域全体のあらゆる関係者(国・県・市町村・企業・住民等)により、流域全体で行う治水対策「流域治水」を推進する阿武隈川下流・名取川流域治水協議会を令和2年9月に設立し、「阿武隈川水系流域治水プロジェクト」を策定し、令和3年3月に公表した。
- 以後、プロジェクトについては、取り組みが広がりを見せ、流域全体の関係者による総合的な防災・減災対策を実施。

流域治水プロジェクトに関する取り組みの経緯

【日時】	【会議等】
令和2年9月18日	第1回 阿武隈川下流流域治水協議会
令和2年12月23日	第2回 阿武隈川下流流域治水協議会
令和3年2月10日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを策定 阿武隈川流域治水宣言の表明
令和3年7月7日	第4回 阿武隈川下流流域治水協議会
令和4年3月17日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新
令和5年3月22日	阿武隈川水系流域治水プロジェクトを更新

協議会メンバー

仙台市危機管理局長、白石市長、名取市長、角田市長
 岩沼市長、蔵王町長、七ヶ宿町長、大河原町長、村田町長
 柴田町長、川崎町長、丸森町長、亘理町長、山元町長
 農林水産省東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所長
 林野庁東北森林管理局 仙台森林管理署長
 森林研究・整備機構森林整備センター 東北北海道整備局長
 東北運輸局 鉄道部長
 東日本旅客鉄道株式会社 東北本部長
 気象庁 仙台管区气象台 気象防災部長
 宮城県 宮城県復興・危機管理部長、農政部長、水産林政部長
 土木部長、仙台土木事務所長、大河原土木事務所長
 仙台地方ダム総合事務所長、大倉ダム管理事務所長
 国土交通省東北地方整備局 宮城南部復興事務所長
 国土交通省東北地方整備局 釜房ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局 七ヶ宿ダム管理所長
 国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所長

協議会の開催状況

【令和4年度 阿武隈川下流・名取川流域治水協議会】



【自治体との意見交換会・勉強会を随時開催】



3. 阿武隈川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

○ 令和元年東日本台風で阿武隈川本川からの越水・溢水のほか、支川での多数の氾濫や内水氾濫により甚大な被害が発生した阿武隈川水系では、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに加え、流域からの流出を抑制する対策など、以下の取り組みを実施していくことで、国管理河川においては、戦後最大の令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



簡易型河川監視カメラの設置

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

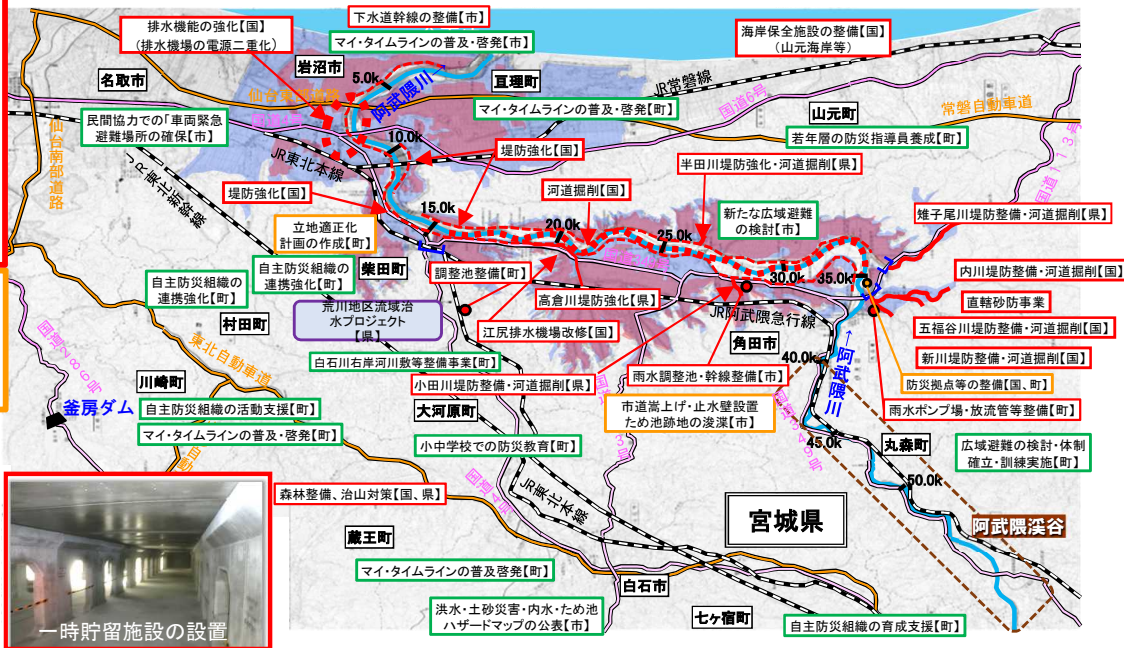
- 河川区域での対策
 - ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備
 - ・千五沢ダム再開発
 - ・農業用排水機場整備
 - ・利水ダム等16ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、宮城県、福島県、沿川市町、東北電力(株)、土地改良区など)
- 集水域での対策
 - ・一時貯留施設の設置、雨水幹線の整備、水田貯留
 - ・森林整備、治山対策
 - ・海岸保全施設、砂防堰堤等の整備等

■被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画の作成・検討
 - ・浸水拡大抑制に加え、避難経路確保にも資する市道の嵩上げ・止水壁設置等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

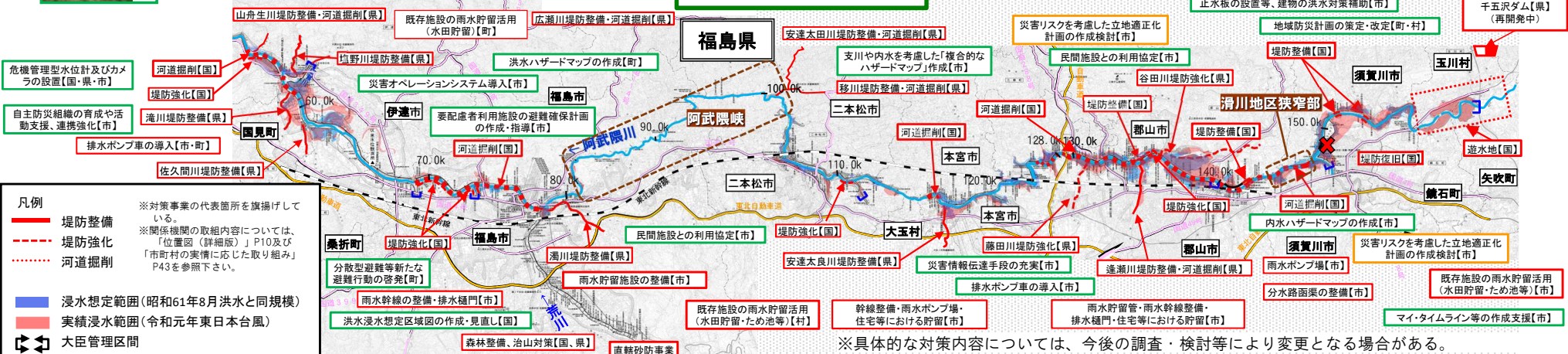
- 氾濫域での対策
 - ・危機管理型水位計及びカメラの設置及び避難体制の構築
 - ・洪水浸水想定区域図の作成・見直し
 - ・ハザードマップの見直し
 - ・要配慮者利用施設も含めた避難確保計画策定及び訓練促進
 - ・「マイ・タイムライン」作成の普及促進
 - ・自主防災組織の設置促進と人材育成
 - ・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」作成
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・洪水に関する危険度情報の一体的配信(水害リスクライン・キックル)等



■グリーンインフラの取組



一時貯留施設の設置



- 凡例
- 堤防整備
 - - - 堤防強化
 - 河道掘削
 - 浸水想定範囲(昭和61年8月洪水と同規模)
 - 実績浸水範囲(令和元年東日本台風)
 - ⬇ 大臣管理区間
- ※対策事業の代表箇所を旗標している。
※関係機関の取組内容については、「位置図(詳細版)」P10及び「市町村の実情に応じた取り組み」P43を参照下さい。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

4. 阿武隈川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率:99% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>21市町村 (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>21施設 (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 24箇所 (令和4年度実施分) 砂防関係施設の整備数 7施設 (令和4年度完成分) ※施工中 12施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>4市町村 (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 61河川 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年9月末時点 内水浸水想定区域 2団体 (令和4年9月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>洪水 749施設 避難確保計画 土砂 66施設 (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年9月末時点 個別避難計画 18市町村 (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	--	--	---	--	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【宮城県 角田市】
○市道 駅前花鳥線に越水対策工事（止水壁）を設置し、尾袋川からの越水対策を実施することで左開地区への越水流入を防ぎ、避難経路を確保する対策を実施しています。



令和元年東日本台風時の状況

左開地区
尾袋川
市道 駅前花鳥線
止水壁
避難路の確保

【福島県 福島市】
○市内を流れる普通河川碓氷川において、上流部の土地利用変化や、流末にあたる雨水渠が未整備区間のため、大雨による浸水被害が発生していたため、浸水多発地区に雨水一時貯留施設（貯留量 V=約500m³）を設置し、浸水対策を実施しています。



碓氷川
雨水一時貯留施設
貯留量 V=約500m³

被害対象を減少させるための対策

【宮城県 柴田町】
○令和4年5月に立地適正化計画を策定・公表
○防災に対する方針等をまとめた防災指針を策定し、災害リスクを踏まえた誘導区域を検討

最大規模での浸水被害と過去の浸水（内水）被害の両面で災害リスクを詳細に分析し、地域防災計画の検証を行いながら、誘導区域を設定し安全・安心で快適なコンパクトな市街地の誘導・形成を目指す。



誘導区域の検討
災害リスクを地区ごと（マイクロ）に検討
避難所機能の整備
防災機能を備えた体育館の建設
地域防災計画の確認
地区避難所でも浸水想定は3m以上

【民間企業の取組】
○工場への浸水被害を防ぐために、出入口に止水壁を設置（郡山市）



○立地適正化計画における居住誘導区域内での防災指針の策定（白河市）



防災上の課題と防災対策の取組の方向性

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【宮城県 柴田町】
○地域における講習会等によりマイ・タイムラインや避難確保計画作成の普及、防災リーダーの育成等を通じて、地域防災力の向上を図る

気象予報士から学ぶマイ・タイムライン講習会（柴田町）



○災害時の一人ひとりの適切な避難行動を普段から考えてもらう取組み（マイ避難ノートの配布）



○平常時・洪水時の河川状況や河川水位の上昇等を把握できるよう、YouTubeライブ配信を開始

福島河川国道事務所
Fukushima Office of River and National Highway

- 防災 → 河川
- 砂防 → 道路
- 入札・契約情報

事務所概要
・組織一覧及び連絡先
・所在地
・沿革

【配信映像イメージ】



5. (参考)阿武隈川流域における各取組について

○ワンコイン浸水センサ実証実験開始

国土交通省では浸水の危険性がある地域に浸水センサを設置し、リアルタイムに状況を把握する実証実験を官民連携で行っている。

伊達市は、本実証実験に参加、民間企業と連携し、令和5年9月に伊達市内10箇所に浸水センサを設置した。直轄設置分を含めると計14箇所の浸水センサを設置済。



◀▲浸水常襲箇所に浸水センサ設置



○流域内連携の促進



◀▼上流自治体の物産展を開催



【福島駅前 軽トラ市】
福島駅前通り (令和5年9月)



◀▼上流自治体の物産展を開催

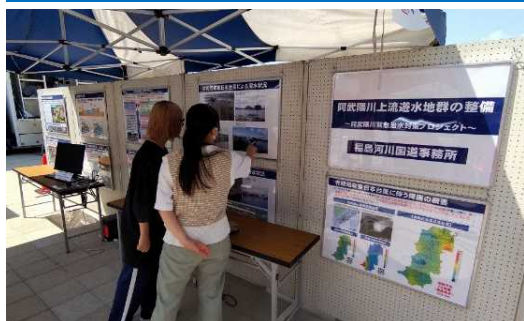


【荒川フェスティバル】
福島市 荒川桜づつみ河川公園(令和5年5月)

6. (参考)阿武隈川流域における各取組について

○流域治水の広報、防災教育等

【パネル展】



福島県総合防災訓練
▼ (令和5年8月)

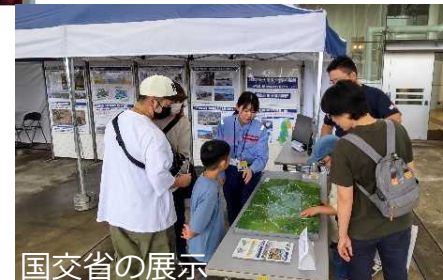


▲ふくしま道の駅・空の駅まつり
(令和5年9月)



▼▲そなえるふくしま (令和5年9月)

▲ふくしま災害体験フェア
(令和5年7月)



国交省の展示

【出前講座】



▼福島市 (令和5年6月)

▲伊達市 (令和5年6月)



鏡石町内小学校
▼ (令和5年9月)

▲郡山市内小学校
(令和5年8月)



7. (参考)阿武隈川流域における各取組について

○「マイ・タイムライン講習会」の開催

- 日 時 : 令和5年2月6日(月) 13:30~16:00
 場 所 : 丸森町まちづくりセンター 大集会室
 共 催 : 丸森町・仙台河川国道事務所
 参加人数 : 丸森町自主防災会等49名、自治体11名、事務局12名(国土交通省・河川情報センター等) 計72名
 取組概要 : 丸森町内の自主防災会等の方々を対象に、水災害への備えとなる「マイ・タイムライン」の普及促進を目的に、丸森町と共同で実施した。令和元年東日本台風の被災経験を学習しながら「台風発生から川の水が氾濫」するまでを知ってもらった。また、「逃げキッド」等を用いて、自ら防災行動を考える学習「マイ・タイムライン」作りに取り組んだ。

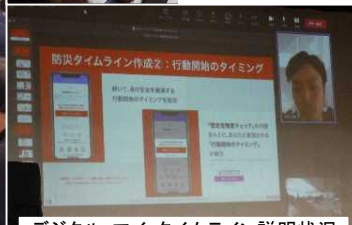
【当日の進行】 13:30~16:00		
13:30	開会のあいさつ	丸森町 副町長
13:35	丸森町の防災情報について	丸森町 危機管理専門官
13:45	最近の気象災害と情報について	気象予報士
14:00	マイ・タイムラインの作成	気象予報士・FRICS
15:30	デジタル・マイ・タイムラインについて	本省・ヤフー(株)
16:00	閉会のあいさつ	仙台河国 副所長



実施状況



個別説明状況



デジタル・マイ・タイムライン説明状況



寺川 奈津美(てらかわ なつみ)

気象予報士・防災士

【経歴等】

山口県下関市出身・慶応義塾大学理工学部卒業

【出演歴】

NHK「ニュース7」

フジテレビ「直撃 LIVE グッディ！」



熊谷 琴葉(くまがい ことほ)

気象予報士・防災士

【経歴等】

熊本県球磨郡出身・早稲田大学政治経済学部

【出演歴】

KHB 東日本放送「サンデーチャージ! & スポーツ」